

避難行動を確認しましょう

災害が起きたときには、自分の命を自分で守ることが大切です。その基本となるのが「避難をする」ということです。どのような行動をしたらよいか、確認しましょう。

避難行動の例



総務課防災危機管理室

☎ (25) 1118

一人一人が備えてこ！
防災力UP！鳥羽

vol.23



「イヤイヤ期」の子どもは怪獣だ」という表現をよく聞きますが、何を言っても「イヤイヤ」ばかり言う2〜3歳前後の子どもの姿は、子育てを経験されたかたなら、多かれ少なかれ覚えがあるのではないのでしょうか。

買い物帰りに見かけたある親子は、車に乗る場面で、「いやー」と言っただけでが大暴れ、母親は困り果て「抱っこしてあげるから車に乗ろう」「車に乗ったらおやつあげるから」「言うこと聞かないと、ここに置いてくよ」などなだめたり叱ったり、さまざま言葉かけたけれど、子どもは余計に反抗し、その場に寝そべってしまいました。言葉をかければかけるほど負の連鎖にはまってしまい、もう手が付けられない状態です。

こっぴどく時は何も言わず黙って抱っこすることや、安全を確保できる状態であれば子どもから少し距離を置くことをお勧めしています。クドクド言い聞かせようとしたら、声を荒立てて叱ったりすることは逆効果になります。

子どもはイヤイヤ期は、初めての感情表現とも言われており、大好きなお父さんとお母さんのもとで安心して自分を表現しているのです。イヤイヤを連発する子どもを変えよう、何とかしようという考えかたではなく、少し視点を変えて、大人の受け止めかたを工夫してみたいかがが大切です。

現代の子どもたちは感情表現が抑圧的傾向にあるとも言われています。感情を出せる環境を大切にしていきたいですね。



Vol.34



「イヤイヤ期」

みんなで子育て
だっこで
ほっと

子育て支援センター
☎ (25) 7225